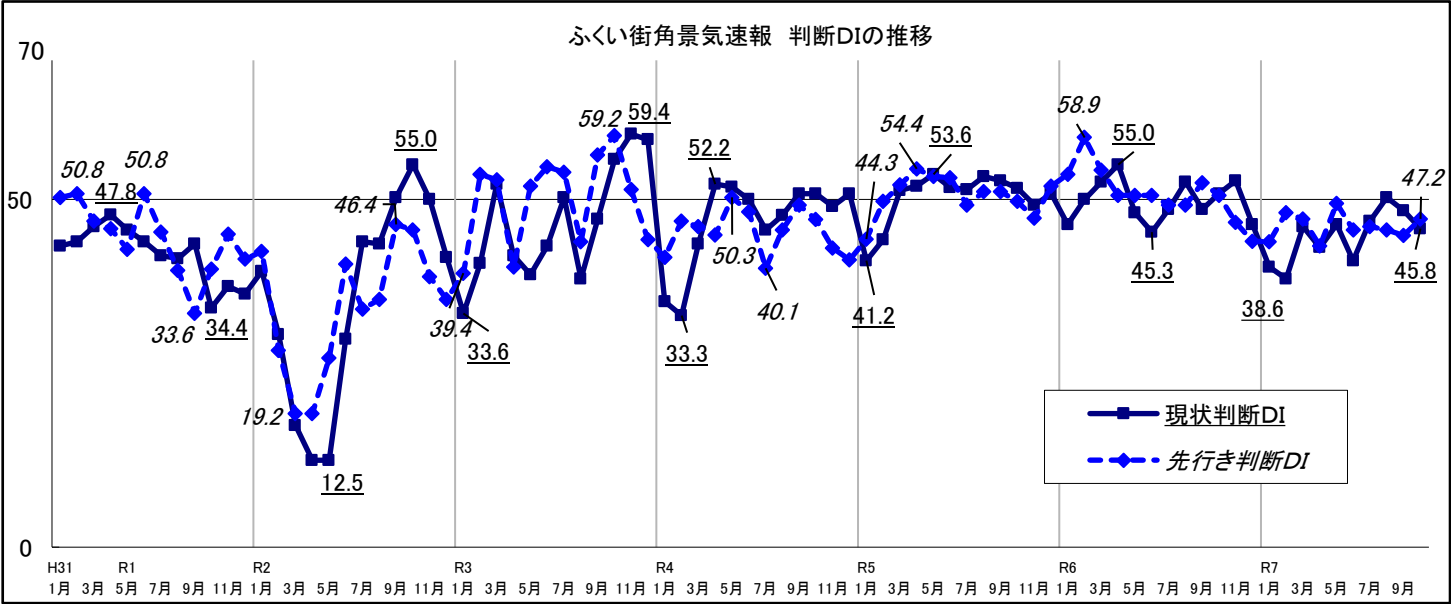


ふくい街角景気速報

(令和7年10月分)

調査期間 令和7年10月21日～28日 (回答率：90%)

概 況	
景気の現状判断DIは45.8となり、前月と比べ2.6ポイント低下した。	
景気の先行き判断DIは47.2となり、前月と比べ2.4ポイント上昇した。	
■景気の現状判断DI	45.8 (前月比 ▲2.6)
○家計動向関連では、前月に比べ 6.2 ポイント低下した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 1.5 ポイント上昇した。	
○雇用関連では、前月に比べ 2.2 ポイント上昇した。	
(意見の主な内容)	
○10月からの値上げが報道でも取り上げられ、節約志向がさらに高まっている。気温も下がり切らず、冬物の動きも鈍い。(スーパー)	
○売上こそ前年並みではあるものの、コスト上昇が激しく、利益が出にくい環境になっている。(コンビニエンスストア)	
○国内外共に、分野によっては好転している部分も見られるが、全体的な市況としてはあまり変動が見られない。(繊維関連)	
■景気の先行き判断DI	47.2 (前月比 +2.4)
○家計動向関連では、前月に比べ 0.5 ポイント上昇した。	
○企業動向関連では、前月に比べ 7.0 ポイント上昇した。	
○雇用関連では、前月に比べ 2.3 ポイント低下した。	
(意見の主な内容)	
○冬物、年末需要で一部動きは出るものの、株価の不透明感や、商品価格の上昇によって消費マインドにブレーキがかかる。(百貨店、SC等)	
○新政権によるガソリン暫定税率廃止が実施されれば、高止まりする燃料費の低減が期待できる。(銀行等金融関連)	



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断D I	2 P
2. 景気の先行き判断D I	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1)調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数					
地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2)調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3)調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

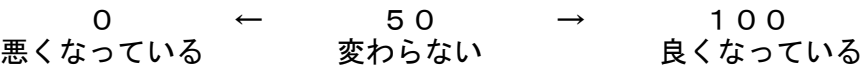
3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。



1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R7 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		46.4	41.2	46.9	50.3	48.4	45.8	▲2.6
家計動向関連		42.6	37.0	45.3	48.4	47.9	41.7	▲6.2
小売		40.0	37.5	44.5	41.7	44.2	39.2	▲5.0
飲食		45.8	25.0	45.0	70.8	54.2	45.8	▲8.4
サービス		47.7	41.7	47.7	54.5	54.2	45.8	▲8.4
企業動向関連		50.0	43.4	48.5	52.3	47.7	49.2	+1.5
製造業		47.9	42.7	46.7	52.2	45.8	45.5	▲0.3
非製造業		56.3	45.0	52.5	52.5	53.1	58.3	+5.2
雇用関連		52.3	52.3	50.0	52.5	52.3	54.5	+2.2

○回答別構成比

	年 月	R7 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	2.2%	1.1%	▲1.1
やや良くなっている		21.1%	9.9%	15.6%	18.9%	14.3%	17.8%	+3.5
変わらない		43.3%	48.4%	55.6%	57.8%	60.4%	47.8%	▲12.6
やや悪くなっている		31.1%	34.1%	21.1%	20.0%	20.9%	30.0%	+9.1
悪くなっている		3.3%	6.6%	5.6%	1.1%	2.2%	3.3%	+1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R7 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		49.4	45.6	46.1	45.6	44.8	47.2	+2.4
家計動向関連		46.3	46.2	46.4	44.1	45.3	45.8	+0.5
小売		44.2	44.6	45.3	42.5	45.8	50.0	+4.2
飲食		41.7	54.2	55.0	41.7	37.5	41.7	+4.2
サービス		54.5	45.8	45.5	50.0	47.9	37.5	▲10.4
企業動向関連		51.6	44.9	46.2	47.0	41.4	48.4	+7.0
製造業		51.0	43.8	43.5	47.8	39.6	46.6	+7.0
非製造業		53.1	47.5	52.5	45.0	46.9	52.8	+5.9
雇用関連		56.8	45.5	44.4	47.5	52.3	50.0	▲2.3

○回答別構成比

	年 月	R7 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなる		2.2%	2.2%	4.4%	1.1%	0.0%	2.2%	+2.2
やや良くなる		20.0%	16.5%	11.1%	11.1%	19.8%	15.6%	▲4.2
変わらない		53.3%	48.4%	54.4%	61.1%	46.2%	55.6%	+9.4
やや悪くなる		22.2%	27.5%	24.4%	22.2%	27.4%	22.2%	▲5.2
悪くなる		2.2%	5.5%	5.6%	4.4%	6.6%	4.4%	▲2.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計 動向	福井	家電販売店	Windows10のEOS(サポート終了)による買い替え需要のため。
		嶺南	観光関係	購入点数的には伸びていないが、順調に単価が上昇している。
		福井	観光関係	秋の行楽シーズンに入り、観光客の入りが良好である。また、団体での利用も堅調。飲食、宴会のご利用も良好である。
	企業 動向	嶺南	その他製造関連	工事発注の増加のため。
		福井	建設・不動産関連	業況が上向きであるため。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、SC等	富裕層を中心に高資産価値、高単価商品の動きはあるものの、長夏の影響もあり、秋の生活関連商品の動きは鈍い。目新しい商品には、お客様の反応はあるものの限定的。
		福井	百貨店、SC等	10月からの値上げや政治不安の影響などで消費欲が減退している。
		福井	スーパー	商品の値上げ傾向が続いており、お客様の節約志向も変わらないと感じるため。
		福井	観光物産関係	個人消費が弱いと感じている。物価の上昇と個人消費の低下のダブルパンチ。
		坂井	観光関係	予約状況から判断して、変わらない。
	企業 動向	坂井	繊維関連	国内外共に、分野によっては好転している部分も見られるが、全体的な市況としてはあまり変動が見られない。
		福井	一般機械関連	北米市場を中心に商談、受注が一定数確保されている。
		奥越	電気機械関連	生産数量が横ばいのため。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性もあり、受注がピークに達しているため。
		福井	化学・プラスチック 関連	受注状況が上向かない。
		嶺南	商社	個人消費の回復が鈍い。
		福井	銀行等金融関連	食料品等の物価上昇の伸び率は、縮小傾向にあるが、個人消費の回復には至っていない。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	市内の有効求人倍率や融資状況においては、前月並みで推移しており、最近の景気動向と変わらない。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	衣料品は、季節変動で売れるものや時期が変化。ヒット商材が少ない上、商品価格も上昇している。食品価格の上昇で、必需以外の品に対し、家計重視(価格志向)の顧客が拡大し、購買意欲低迷。期待した旅行需要も旅費拡大で、衣料品まで購入できない傾向がありそう。
		奥越	百貨店、SC等	物価の高騰で売上はあまり変わっていないが、客数が落ち込んでいる。夏の暑さの影響や秋らしさが無い(秋が短い)のも影響しているかもしれない。
		坂井	スーパー	10月からの値上げが報道でも取り上げられ、節約志向がさらに高まっている。気温も下がり切らず、冬物の動きも鈍い。
		福井	コンビニエンスストア	売上こそ前年並みではあるものの、コスト上昇が激しく、利益が出にくい環境になっている。
		嶺南	飲食関連	季節的なところで、来客数が少なくなっている。
	企業 動向	福井	眼鏡関連	理由は分からないが、売れていない。
		丹南	電気機械関連	全体的に良い材料がなかなか見つからない状況のため。
		福井	商社	県外からの観光客が少なくなっていることや、先日の原油高による影響のため。
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	繊維関連	受注が上向きにならない。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	福井	商店街	ふくとくのお買物券を1月から販売する予定であるため、一定の消費が見込める。
		嶺南	スーパー	食品価格の高止まりは、生産者にとっては売上アップにつながる一方で、直売所(小売店)としては消費者の買い控えを懸念している。新政権の減税政策に期待する。
		福井	コンビニエンスストア	政府の景気対策の期待感が、消費を喚起する。
		坂井	観光関係	関西大阪万博が終了し、11月に越前ガニ漁が解禁となるため。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	新政権によるガソリン暫定税率廃止が実施されれば、高止まりする燃料費の低減が期待できる。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	低迷状態のまま継続するだろう。低気温予報で、防寒衣料の伸長を期待しているが、高騰した防寒衣料の購入が大幅に増加する見込みは低い。一方、全アイテムで値下げ・値引きには反応が高く、価格訴求商品の需要は高めであり、売上増の見込みもやや低い。
		福井	百貨店、SC等	冬物、年末需要で一部動きは出るものの、株価の不透明感や、商品価格の上昇によって消費マインドにブレーキがかかる。
		福井	スーパー	値上げやドラッグストア出店などの影響で、買い回りが増えている。
		坂井	スーパー	一旦値上げの波は落ち着くようではあるが、節約志向については続いていくと思われる。
		奥越	観光物産関係	原材料の値上がりがいすが、商品をあまり高くできない。
		嶺南	観光関係	変わらず堅調な先行予約が見て取れる。
	企業動向	福井	繊維関連	服などの購買意欲が上がらない。それが続いている。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続く見通し。
		福井	化学・プラスチック関連	受注・販売見込みに特段の変化が見られない。
		嶺南	商社	個人消費の回復次第である。
		福井	銀行等金融関連	物価高に伴う仕入単価の再加速や、人件費上昇など利益圧迫が続くとみられる。
		福井	建設・不動産関連	現状がある程度持続するものと思われる。
		福井	運輸関連	企業間物流の物量に大きな変化は見込まれない。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	10月に入り、物価高騰を極端に感じる。購買意欲はそこまで上がらず、冬季間に入ると、暖房に関する経常的な費用が必要になるため、他の支出は伸びないと思う。
		福井	ジョブカフェ担当者	今年度に入ってから雇用失業情勢、有効求人倍率の推移を見る限り、ほぼ横ばいとなっていて大きな変化は見られないことから、少なくとも今後2～3ヶ月先も同様に推移すると考えられ、景況感に大きな影響を与える可能性は低いとみられる。
④やや悪くなる	家計動向	奥越	一般小売店	これから先も、物価高、賃金UPが続きそうである。
		福井	百貨店、SC等	政局も不安定であり、景気・物価対策も遅れが予想され、顧客の消費動向がすぐに上向くとは考えられない。
		嶺南	飲食関連	季節的なところ。情勢がめまぐるしく変化しており、店側としても対応に追われ、純粋に売り上げを延ばすことに力を入れられていない。
		福井	観光関係	閑散期に入り、気候条件は不明であるが、人の流れは減少すると思われる。また、物価の上昇もまだまだ継続しており、年末年始の消費行動は消極的になるとと思われる。
	企業動向	丹南	電気機械関連	刻々と変化する海外主要国の経済政策などに加え、国内の政治状況も全く予測がつかないため。新首相・新政権が経済に好影響を与える政策を打ち出してくれる期待もあるが、現時点では悪影響となりそうな不安のほうが大きい。
		嶺南	その他製造関連	工事発注が落ち着くため。
	雇用	福井	学校就職担当者	物価高騰が収まらないから。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブステーション担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、
悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、
今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)